



核心ピッチは核心でなかった

八ヶ岳 阿弥陀岳北西稜

大田原

【日時】 2012年3月3日(土)～4日(日)

【メンバー】 L栗原、大田原

今シーズンようやくの雪稜！4人で一ノ倉の予定が、徐々に悪化する天気予報にパーティー分裂、栗原さんと二人で八ヶ岳へ転進となった。

過労気味の私のために、栗原さんは高速をずっと運転してくださった。私は助手席でひたすら爆睡…。朝日の眩しい原村を過ぎ、美濃戸口へ。車がたくさん停まっており、近年のアイスクライミング人気のためか、出会う人の半数はアイスパイルを持っているようだった。スタックする車を見かけつつ、滑る林道を歩くが、早くも息が切れる。運動不足が祟っており、足の進まない私を容赦なく栗原さんは引き離して行く。ヨレヨレと南沢の登山道を辿り、大滝への分岐を過ぎていくと、北西稜の取り付けに向かう踏み跡が現れる。一般登山者が迷い込まないようにロープを張ってある。本日はまだ誰も入っていないようだが、踏まれた跡はあまり沈まない。が、踏み跡をはずすと腿まですっぽり埋まる。初冬から綿々と踏まれているのだろう。登山道を外れてすぐのところをテニ場に定め、ルートの偵察へ。沢形を過ぎ、樹林帯を抜けるところまで確認し、テントに戻った。時間に余裕があるので、日頃の睡眠不足を解消した♪

暖かい夜だった。栗原さん特製雑炊を食べて、予定より少々遅れて出発。当然真っ暗だが、昨日偵察してあるので順調に森林限界を越える。明るくなってくると周囲の山々がよく見えて美しい。と、阿弥陀岳北稜上、核心部の取り付け付近にヘッデンが瞬いているのを見つけた。あの人たち早いな～とっていると、ヘリが飛んできて我々の頭上に近寄り、その後ヘッデンの主らの元へ。1人ヘリから下降すると、ヘリは帰



っていった。何と、彼らは遭難者であったか。ひとつ尾根違いの我々も、ヘリは念のため確認したようだ。気を取り直して狭い稜線を、はじめはアンザイレレンせずに進み、半ばで1ピッチスタカット、その後コンテで第一岩壁取り付けまで。事前に予習して4p目が核心部だと知っていたので、1p目のリードを立候補(^_^;)。バンドを右へトラバースするが、どこがルートかよく分からず、適当なところから雪面に取り付く。柔らかい雪に隠れて、どこに残置があるのかもよく分からず、迷いながらじわじわと高度を上げていくが、支点が取れないので何とも恐ろしい。右へ斜上しながら20mほどランナウトし

てようやく岩角にスリングを巻きホツとする。ここからやや左上ぎみに稜上に戻ったところで岩にスリングをかけ、確保体制に入る。ヘタレな私は何と、今のピッチの恐怖に手が震え、手にしたはずの確保器が摩利支天沢に吸い込まれてしまった。支点の強化に何とか打てないかと思ったハーケンも落ちていった…。情けない。予備の装備など持たないので、仕方なく今にも外れそうなスリングを支点に肩絡みでいくことにする。栗原さんはさすがスイスイ登ってきた。つるべで栗原さんがロープを引くが、10mも行かないうちに第二岩壁の取り付きだ。物足りない栗原さんはそのまま通常3p目とされる左へのバンドトラバースも続けて行ってしまった。嫌な予感がする。恐る恐るフォローしていくと、栗原さんのいるビレイポイントから右上に残置スリングが掛かっている。うーん、トポで読んだ核心の4p目な気がする…。いつも事前にルート内容を調べておいて、核心ピッチが回ってこないように計算しておく私だが、ここは仕方なくリードで登り始める。が、このピッチ、あまりに残置スリングが多い。核心とされる凹角も1m以下の間隔でハーケンがある。傾斜も強くないし、何だか精神的に非常に楽である。凹角半ばでスタンスが細くなるので念のためアブミを使用した。A0しまくりの楽勝ピッチであった。稜上に乗りあがったところでビレイ。栗原さんはフォローなのでつまらなそうであった。1p目を長く伸ばしすぎたからですね、すみません。一応栗原さんがさらにロープを引くが、もう必要ないようなのでロープをしまう。少々の登りで御小屋尾根に出、すぐに阿弥陀岳だった。山頂で南稜や北稜から来たPらと共に和む。北稜パーティーのガイドさんに、中岳沢を通るのはやめた方がよいと言われ、下山は文三郎道経由にする。しかし結局ガイドさんらは中岳沢へ入っていたようだ。私たちに来て欲しくなかったのかなあ。登りになるとまたまた息が切れる。文三郎道分岐まで登り返し、下りも早い栗原さんを追いかけて駆け下っていくと、テント村になっている行者小屋に着いた。



【グレード】2級上 IVA1

【行程】3/3 美濃戸口(9:50)～美濃戸

(10:45)～北西稜取り付きBP(12:50)

3/4 BP(5:15)～第二岩壁取り付き(8:15)～阿弥陀岳(10:15/30)～行者小屋(11:45)～

BP(11:55/12:35)～美濃戸(13:40)～美濃戸口(14:20)

【地図】八ヶ岳西部